



教育行政方針を演述する三田信一教育委員長

したが仙台のコールセンターで対応するとの回答であった。今後も引き続き要望、補償の要求を粘り強く行っていく。行政として被災者支援、農産品の安全確保対策、風評被害対策等、県と連携を取りながら万全を期していく。

【教育委員長に対する質問】
質問 小・中・一貫教育の現状は。
答弁 現在、前沢小学校・中学校で実施しており、中一ギャップを解消したいということや学力向上を図るなどのねらいで実施している。一人の先生が、小学校・中学校の両方を受け持つなどにより、共通項を見出すことができ、9年間を見通して対応できるもの。一貫した形で行うことにより成果が上がると考えて

いる。
質問 就学援助費の対象項目が2項目追加されたが、クラブ活動費についてはどうか。
答弁 生徒会費、PTA会費が追加された。次はクラブ活動費だが、何とか取り組んで行きたいと考えている。
質問 いじめ対策の現状について。
答弁 いじめについては、問題対策など対策委員会を設け、ケース会議も開催している。対応を学校にのみ任せるのではなく、しっかり対応したい。その上でも、子どもの権利条例が基本であり、しっかり理解していただくように努力したい。
質問 国体を契機に、カヌーなどの特徴的なまちなしていくことが望まれる。カヌー会場を仮設ではなく、国際規格に整備すべきでは。
答弁 カヌーは、競技人口が少ないのが実態であ



バランスを取りながら激流をターン

る。また、胆沢川の上流が会場となるが、以前の岩手国体の際には種目なかった。仮設は県が設置するが、水利権や漁業権の問題もあり、ダム工事事務所の担当と協議中である。
質問 給食のアレルギースタッフが死亡するとう事故が起きた。当市のアレルギーマスターについて。
答弁 保護者のアンケートをしっかりと取って対応しており、※2アレルゲン名を抜いた食事など現在87名の児童生徒に対応している。万が一ということ

人事案件を同意

平成25年3月31日をもって任期満了となる教育委員会の委員の後任候補者を全会一致で同意しました。



〔新任者〕
高橋 れい 氏 (衣川区)

がないようにしっかりと対応したい。
質問 食育の現状は。
答弁 知育・徳育・体育が根幹であり、それを支えるのが食育である。この間、意見交換会を行ったが、家庭の中でしっかりとやられていないのが実態であり、今後しっかりと取り組みたい。
質問 県教委は、新年度から小学3年生まで少人数学級を拡大するが、当市はどう対応するか。
答弁 少人数学級にするか、少人数指導にするか

は、市町村に判断を任せられており、当市は、少人数学級で対応したい。実際のところ、一クラス35人でも多く、25人位が良いと考えている。

【用語解説】
 ※1プライマリーバランス 国や地方自治体の財政状態を示す指標の一つで、市債（借金）発行額を除いた歳入と、公債費（借金の返済費用）を除いた歳出の収支であらわされます。
 プライマリーバランスの黒字化とは、新たな借入額が返済額を下回っているため、市債の残高が着実に減少することになります。
 ※2アレルゲン アレルギーマスター疾患を持っている人の抗体と特異的に反応する抗原のこと。